

令和2年10月5日

全校朝会講話 「自分の命は自分で守る」

全校のみなさん、おはようございます。今日は、今年初めての校庭での全校朝会です。直接顔を合わせてお話ができること、私はとてもうれしいです。本当は、4月の1学期始業式でこのような形でみなさんに会える予定でしたが、半年遅くなりましたが、これもまた新たなスタートだと思って、これからがんばっていきましょう。

このあと、運動会の応援の練習もあるそうなので、短くお話をします。今日のお話は、「自分の命は自分で守る」というものです。この言葉は、避難訓練のときにも言いました。

今、各クラスで、担任の先生から登下校のときの歩き方について、いろいろと話を聞いていると思います。例えば、「北門側の歩道ではポールの内側を歩きます。」とか「赤コースの学校の目の前の道は壁沿いを歩きます。」といったものです。これらは、すべてみなさんの命を守るために必要なことです。きちんとできている人、たくさんいますね。立派です。

さて、毎朝、赤コースからくる人たちに「壁沿いに寄りなさい。」というサインを私が送っていることに気付いている人もいますよね。様子を見てみると、それまで駐車場側を歩いていた人でも、ハッと気付いて歩き方を変えている人がいます。先週の金曜日には、自分の歩き方を変えるだけでなく、近くにいる1年生に歩き方を教えてあげている人もいました。すばらしいことです。

登下校のときの歩き方は、どんどんよくなってきましたよ。みなさんの命と安全を守るために、先生たちも一生懸命頑張ります。ですから、みなさんも「自分の命は自分で守る」という気持ちをしっかりと持って、歩いてください。担任の先生や学年の先生からどんなお話があったか、よく思い出してくださいね。健康な体があってこそ、今週土曜日の運動会も全力でがんばれますね。これでお話を終わります。

全校朝会のお話は終わりですが、お一人、紹介したい人がいるので、そのまま聞いてください。

今日から、教育実習が始まります。教育実習というのは、学校の先生になりたいと思っている学生さんが、実際の学校に来て、みなさんと一緒に勉強するというものです。多聞小学校にみえた教育実習の先生は、主に4年1組のみなさんと一緒に勉強をしますが、他のみなさんともきっとどこかで一緒になるはずですよ。学校で会ったときは、気持ちのよいあいさつをしましょう。